

心歌日記②～

課題曲「群青」の楽譜にはこう書いてあります。「福島県南相馬市立小高中学校平成24年度卒業生」2011年に起こった東日本大震災に寄せて作られた歌です。小高中学校で当時、教頭先生をされていた荒木先生は次のようにお話をされています。

(震災後)次々と授業が再開されていきましたが、どうしてもうまくいかない時間がありました。それは、音楽の授業です。先生がピアノを弾き、前奏が終わっても、生徒たちから歌声が聞かれることはありませんでした。子どもたちは教科書に載っているような希望に満ちた曲を、どうしても歌う気持ちになれなかったのです。そこで音楽の先生は、子どもたちの今の気持ちに寄り添ったオリジナルの曲を作ることになります。授業で出た言葉や、日記や作文に書かれた言葉を拾い上げ、歌詞にまとめ上げました。こうして生まれたのが、合唱曲「群青」です。

2019.10.11「ドコモグループ 東北復興・新生支援 笑顔の架け橋プロジェクト」より

離れ離れになってしまった友人のことを思い、紡がれたこの歌。「旅立つ日 見える景色は違ってても 遠い場所で君も同じ空 きっと見上げてるはず」「あたりまえが幸せと知った」「また会おう」と、「君」に伝えたい思いを思い出と共に懐かしくどこか切なくも、希望の気持ち、大切な人との繋がりが見えてくる歌となっています。

この大切な思いが込められた「群青」を、ひばりが丘中学校の青学年としてどのように歌うか、後輩たちに届けるかークラスを越えて学年で思いを共にするため、拡大リーダー会2を開きました。

文化行事委員、指揮者、伴奏者、パートリーダーの思い

①始まりのユニゾン「ああ、あの街で生まれて君と出会い たくさんの思い抱いて一緒に時を過ごしたね…」

【思い】

- ・昔を思い出し、懐かしんでいる。
- ・美しい思い出にひたっている。
- ・嬉しくなるような、じんわりくるような。(悲しくはない)
- ・思い出を噛みしめるような気持ちで。
- ・懐かしく、はかない。

【歌い方】

→温かく包み込むように歌う。やわらかい感じで。

語りかけるように。

→サビまで少しずつ昔を思い出すようになっていくから、優しく余韻を残す。

★楽譜「遠ざかる君の笑顔今でも忘れない」には poco a poco cresc=少しずつ強くするとあり、そのあとのサビでfになっている。リーダーの解釈のとおり、はじめは胸の奥で思い出を懐かしみ、噛み締めて温かさを感じ、その感情がだんだん強くなってサビで溢れ出すイメージ！！

②サビのユニゾン「あの日見た夕日 あの日見た花火 いつでも君がいたね…自転車をこいで君と行った海 鮮やかな記憶が…」 「響けこの歌声 響け遠くまでも…」

【思い】

- ・今はそばにいない友人を恋しく思っ、思い出を楽しむ
- ・まぶしい記憶

- ・思い出にしっかりと景色に色がつく。
- ・1番 思い出→2番 決意
- ・キラキラした思い出 明るい雰囲気

【歌い方】

- ・思い出を楽しみながら、大切な人を思って歌う
- ・感情があふれるように。明るく楽しく。でもしっかりと美しく。
- ・サビに向けてどんどん思い出があふれてくるように。

★1番と2番の気持ちが違うので、どちらも明るい雰囲気ではあっても表現を変えられるとよい。思い出を楽しく思い出す1番、その思い出に希望をもらい未来に向けた決意と約束を信じ果たしたいという2番。強さの質が違う！！

③最後のユニゾン「また会おう 群青の町で…」

【思い】

- ・未来へ向けた希望
- ・余韻にひたりながらも前向きに。
- ・いつかまた会えるということを信じている
- ・1, 2番は過去のことを振り返っているが、最後はその思い出をバネにして希望をもち前向き

【歌い方】

- ・深く、温かく、前向きに
- ・温かい心で、余韻にひたりながらも希望を残して歌う
- ・強く余韻を残す

★「会えるのかな…」という不安ではなく、離れていても同じ空の下、いつか絶対会えるという気持ちをもっている。その思いを心の中心に大切にしまっているようなイメージ。その気持ちがこれからの自分を支えて勇気や希望にかわるので、また 会おう をぶつ切りにしてはいけない！語尾を優しく置くイメージで余韻に浸ろう。大切に大切に歌う。伸ばしなど最後まで大切に大切に。

卒業後、それぞれの道に別れていくみんな。ふと中学校生活を思い出したときに、胸が温かくなるような、群青のメロディを口ずさみたくくなるような、そんな歌にしてほしい。校外学習、運動会、修学旅行、何気ない日々全てが、この歌の彩りになる。



リーダー会の様子



学年の先生のつぶやき ～今週は當麻先生より～

私は学生時代からバスケットボールの公認コーチをやっており、短大、ミニバス、中学と様々な年代を指導してきました。その30年近い指導歴の中で確信したことは、「すべては選手の意識の高さで決まる」ということです。意識の低い選手は何を教えても上達してくれません。しかし意識の高い選手は勝手に上達していきます。私がよく選手に対して口にするのは、「できないことと、やろうとしないことは違う」ということです。最初からできる人はいません。でもやろうとしていればいつかはできるようになります。やろうとしていなければ一生できるようになりません。最近合唱の練習を見ていて、「同じだな」と感じるようになりました。今はmpなのかmfなのか、何拍伸ばすのか、クレッシェンドはどこでかけ始めるのか、などは、一人一人が「意識」をして初めて実現します。やろうとしたのに失敗することもあります。でも、やろうとすることが第一段階です。そしてできるようになるまで繰り返すのです。合唱は得意な人もいれば苦手な人もいます。しかしなぜこれほど多くの学校で伝統行事として根付いているのでしょうか。それは学級力が問われる行事だからだと私は思います。たとえ苦手でも、みんなでやろうと決めたことに対して自分の全力を尽くす。そしてよいものを作り上げようとしたら、集団で作り上げようとしているものに自分の全意識を傾けることが必要になってきます。合唱祭で、5つの学級力がみられることを楽しみにしています。本番まであと1週間！！

<来週の予定>

日	曜	給食	1	2	3	4	5	6	学校行事等
10	火	○	①	③	④	⑤	⑥	合唱	
11	水	○	①	②	③	④	合唱		
12	木	○	①	②	③	⑤	④	合唱	
13	金	弁当	合唱祭						
14	土								

10/13（金） 合唱祭

10月5日に保護者用パンフレットを配布しています。

3年生の部は13：30より始まります。受付は13：00からです。

13：00前後に3年生が最後の練習をしています。学年全員で練習する場面もある予定です。





本番まであと1週間。
来週の練習を楽しくて濃い
音楽の時間にしよう♪